

(公社) 日本航空技術協会 「会長賞」受賞者 紹介

平成29年度 (第65回:平成30年6月15日)

【企業・団体部門】

会長賞:研究・開発の部

国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構 航空技術部門 飛行技術研究ユニット 様

「空港周辺の低層風情報提供技術の研究開発」

貴殿は リモートセンサーの風観測データを活用して離着陸経路上のウインドシアや乱気流を自動検出する技術や 検出した情報を ACARS を通じてパイロットに分かりやすく伝達する技術を開発 さらに気象庁と共同で空港低層風情報を提供することにより安全運航に大きく貢献されました

表彰審議会委員長特別賞:研究・開発の部

株式会社 JAL エンジニアリング 技術部、企画財務部、部品サービスセンター 様

「Potable Water 搭載量削減の取り組み」

貴殿は 運航中に使用する水の搭載量削減のためボーイング 787 型機に取り付く各種センサーのデータを収集し 路線毎の特性を考慮するなど分析を重ねて最適な搭載量を算出 他機種への展開も図り 航空機重量の軽減を図ったことで燃料消費量及び CO₂ 排出量が削減されるなど地球環境改善に大きく貢献されました

表彰審議会委員長特別賞:業務改善の部

全日本空輸株式会社 中田 佑 様

「B777 PW4000 Engine 部品 (Wire Seal) の作成自動化」

貴殿は 従来手作業で行われ時間と技術を要していた PW4000 型エンジンの Wire Seal 作成作業に関して市販の自動溶接装置を改良した自動作成装置の自作を考案 工夫改良を重ねることでこれを実現し 作業の省力化・時間短縮 さらにには作業品質の向上に大きく貢献されました

表彰審議会委員長特別賞:業務改善の部

三菱重工業株式会社 赤沼宏輔 様

「航空機機械部品におけるショットピーニング歪抑制技術の高度化」

貴殿は 大型・薄肉で複雑な形状の部品に対するショットピーニングにより生ずる歪の抑制を図るため シミュレーション技術を利用してショットピーニング強さを可視化する手法を考案 この結果ロボットのティーチング効率化や治具製作が可能となり 製品品質の向上・工数削減・納期短縮に大きく貢献されました

表彰審議会委員長特別賞:業務改善の部

ANAエアロサプライシステム株式会社 コンポーネントサポート課 チーム EMB+オートメーションチャレンジ 様

「TRENT1000 エンジン HPT/IPT ブレードの確認照合作業の自動化」

貴殿は TRENT1000 型エンジンの HPT および IPT ブレードの領収検査において 難易度が高く緊急度も高いブレードの P/N と S/N の確認照合作業の改善のため 現物の画像処理と品質保証書の光学文字認識技術を活用することで確認照合作業を自動化 その結果作業品質向上・作業時間短縮など業務改善に大きく貢献されました

表彰審議会委員長特別賞:業務改善の部

株式会社ジャムコ 航空機内装品・機器事業本部 航空機内装品製造事業部 製造部 製造技術グループ 様

「BOEING 社 777 向けフロアパネル生産における自動化」

貴殿は ボーイング 777 型機フロアパネルの新規生産開始にあたって全体のプロセス検討 専用工場のレイアウト検討 設備治具の企画・開発・導入など一貫生産体制を構築する中で 高頻度かつ高精度な加工・組み立てが必要な製造プロセスについて自社オリジナル設備による自動化を行い 高品質・低加工費の実現

に大きく貢献されました。

奨励賞：研究・開発の部

アジア航測株式会社 九州北部豪雨災害撮影チーム 様

「オプリーク型航空カメラ等を活用した九州北部豪雨災害での災害調査撮影対応」

貴殿は 土砂災害等の発生状況を把握するため一定の時間間隔で自動撮影可能なオプリーク型航空カメラを使用する取り組みを実施 従来より広範囲な撮影が可能となったことで簡易写真図が短時間で作成できるようになり 国・地方自治体等に迅速にデータ提供するなど社会貢献に大きく寄与されました

奨励賞：研究・開発の部

株式会社SUBARU 生産技術部 組立生産技術課 様

「大型サブ組み立ての一气通貫生産ラインの構築」

貴殿は 航空機中央翼組立において従来作業によるクレーン操作で行っていた大物構造部品搬送に代え自動搬送装置やモノレール搬送を最適に組み合わせる中に組立用自動機を配置させることで 高いレベルでの安全作業や高効率な生産ラインを構築 自動化・省人化設備導入によりコスト削減に大きく貢献されました

奨励賞：研究・開発の部

ANAエアポートサービス株式会社 グランドハンドリング用シミュレーター開発プロジェクトチーム 様

「グランドハンドリング用シミュレーターの開発」

貴殿は グランドハンドリング業務で使用するタグ車とボーディングブリッジの操作ができるシミュレーターを開発することにより 実機訓練ではできないイレギュラー対応訓練を可能とし多くのスキル者の養成や作業安全・生産性の向上に大きく貢献されました

奨励賞：研究・開発の部

国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 電子航法研究所 様

「ヘリコプタの前方障害物監視レーダの開発」

貴殿は ミリ波を使用するヘリコプタ前方障害物検知用ミリ波レーダを開発 低高度を有視界飛行するヘリコプタの飛行空域にある送電線や鉄塔を検知できる装置として実用的な小型・軽量の監視装置を実現 今後の障害物探知装置の量販化に大きく貢献されました

奨励賞：業務改善の部

全日本空輸株式会社 熊田光流、野口 洋、上村 豪 様

「ETOPS 運航に関わる連絡方法の簡略化」

貴殿は ETOPS 運航に際して海外基地と MOC が都度実施する運航条件の相互確認作業に関し 従来 of 電話連絡に代えて マニュアル閲覧用 iPad アプリの利用を考案 アプリに追加する新機能を自ら開発し活用することによって相互確認作業の精度向上・簡素化・時間短縮に大きく貢献されました

奨励賞：業務改善の部

日本トランスオーシャン航空株式会社 糸数 均、又吉盛利 様

「JTA QC カレンダー」を利用した作業品質向上の取り組み

貴殿は 過去に発生した作業不具合事例を効率よくリマインドするための方策として 日めくりカレンダーの形式で 1 日 1 例ずつ紹介することを考案 これを QC カレンダーと名付けて毎日の始業時に全員で確認・共有・注意喚起することで同種事例の再発を防止し 作業品質の向上に大きく貢献されました

奨励賞：業務改善の部

株式会社ソラシドエア 森 俊太郎 様

「Boeing737-800 型機 貨物室ドア部 スカッフプレートのダメージに対し構造修理マニュアル (SRM : Structure Repair Manual) で規定されている基準の緩和について」

貴殿は ボーイング 737-800 型機の貨物室ドアの Scuff Plate に損傷が生じるたび Boeing 社に修理方法の確認を行う必要があったことから同社との度重なる協議を実施 その結果構造修理マニュアルに標準的修理手順が設定されることとなり 同種事例発生時の早期修復・早期運航復帰の実現に大きく貢献されました

奨励賞：業務改善の部

ANAベースメンテナンステクニクス株式会社 山門慎平 様

「B787 C02C HIRF INSPECTION における改善施策」

貴殿は ボーイング 787 型機定例整備における HIRF インспекションを世界で初めて実施 その際に得た経験や情報を Boeing 社に提供したことによってメンテナンスマニュアルが改善されるなど 同型機を運航する航空会社や整備を担う MRO における同種作業効率化・作業品質の向上に大きく貢献されました

奨励賞：業務改善の部

ANAエンジンテクニクス株式会社 藤井博臣 様

「PW4000 エンジン分解工程の改善」

貴殿は PW4000 型エンジンの分解組立作業における重複作業や重量物の反転作業を軽減するため トライアルを重ねて新しい手順を確立 エンジンメーカーに提言してマニュアルが改定された結果 同型エンジンを整備するすべての企業における危険な作業の抑制・工数の削減に大きく貢献されました

奨励賞：業務改善の部

ANAコンポーネントテクニクス株式会社 目黒憲一、順徳宏典 様

「A320 新規エンターテイメントシステムお客様向け操作ガイド映像制作について」

貴殿は エアバス A320neo 型機に搭載されている新式の高機能エンターテイメントシステムをお客様が戸惑うことなく操作できるように 操作ガイド映像を短期間のうちに自社で製作 お客様からも好評でお客様視点にたった業務改善に大きく貢献されました

奨励賞：業務改善の部

株式会社 JAL エンジニアリング 技術部、成田航空機整備センター、羽田航空機整備センター 様

「航空機からの部品脱落防止への取り組み」

貴殿は 航空機からの部品脱落防止のためメーカーと連携した部品改良や機体改修等の再発防止対策を速やかに立案実行するとともに 部品脱落の前兆の早期発見に資するポスターの制作掲示と基本作業の徹底等の未然防止活動を行うことによって 航空機からの部品脱落の防止に大きく貢献されました

奨励賞：業務改善の部

株式会社 JAL エンジニアリング 部品サービスセンター 様

「767 TAWV 不具合兆候の発見とチェッカーの製作」

貴殿は ボーイング 767 型機の空調システムのトリム・エア・モジュレーティング・バルブの不具合兆候を確実にかつ簡単に発見できるよう バルブ内スイッチのヘルスチェック専用計測器を製作実用化して 767 型機の機材品質向上と生産性の向上に大きく貢献されました

奨励賞：業務改善の部

株式会社 JAL エンジニアリング 羽田航空機整備センター、成田航空機整備センター、部品サービスセンター、エンジン整備センター 様

「BSI 作業の効率化」

貴殿は ボーイング 787 型 GEnx エンジンのセンターベントチューブ及びボーイング 777 型 GE90 エンジンの LPT の内視鏡検査において 専用のガイドチューブを製作実用化して これらの内視鏡検査の品質向上と生産性の向上に大きく貢献されました

奨励賞：業務改善の部

SPP長崎エンジニアリング株式会社 田中正博 様

「Boing 767 NOSE LANDING GEAR Air Ground Sensor Target の取り付け方法の提案」

貴殿は ボーイング 767 型機ノーズ・ランディング・ギアに取り付いているエア・グランド・センサー・ターゲットの取付方法を 従来のリベット留めからファスナー留めとシーラント塗布の併用に変更して同ターゲットの緩み防止を図り機体品質の向上に大きく貢献されました

奨励賞：業務改善の部

株式会社ジャムコエアロマニュファクチャリング A350LFW 改善チーム 様

「QRコードを活用したA350向け貨物室床下構造材製作の工程改善」

貴殿は エアバス A350 型機向け貨物室床下構造材の製作工程において製品識別ラベルに QR コードを印字 それを読み取ることで加工機や検査装置のプログラム自動呼出しを行うとともにヒューマンエラーを生じやすい手書き品質記録も自動作成するなど 不具合の撲滅と省力化・作業記録時間の短縮を実現し業務改善に大きく貢献されました

奨励賞：業務改善の部

株式会社新潟ジャムコ 技術部 情報システム課 様

「ギャレー製造状況の見える化」

貴殿は 主力製品であるギャレーの生産において生産状況を「見える化」するシステムを作成し 三つの工場や本社管理部門の間においてリアルタイムで生産状況を確認することができるようになり 生産性の向上に大きく貢献されました

奨励賞：業務改善の部

株式会社 JAL グランドサービス 平賀 亮 様

「ボーイング社 737-800 型機 棺の輸送について」

貴殿は 固縛ができないために棺を輸送できなかったボーイング 737-800 型機に対して BULK 室内で緩衝材を用いて容易にかつ短時間に棺の動きを抑えることができる方法を考案して棺の輸送を可能としサービスの向上に大きく貢献されました

奨励賞：業務改善の部

JAL スカイエアポート沖縄株式会社 ランプ統括業務グループ GSE 整備ユニット 様

「ブレーキオイル交換用 SST (スペシャルサービスツール) の製作」

貴殿は 空港内で使用するトーイングトラクターの定期点検で実施するブレーキオイル交換作業においてタイヤとハブを取り外した状態で簡便に作業ができる特殊工具を開発して業務改善し 作業時間の短縮・作業の効率化・作業者の負担軽減に大きく貢献されました

奨励賞：教育訓練の部

株式会社 AIRDO 技術本部 人財育成教育 事務局 (整備訓練部) 様

「人財育成教育「やる気スイッチ ON！」」

貴殿は 社内組織風土変革のため組織を支える社員一人ひとりの成長促進のサポートを目的に 技術本部内整備部門員全員に人財育成教育「やる気スイッチ ON！」を実施し その後職場内の対話や提案が活性化するなど組織の変革に大きく貢献されました

奨励賞：教育訓練の部

株式会社 スターフライヤー 岩崎聡史 木村城司 様

「IT (ビデオ会議システム) の教育訓練への活用」

貴殿は IT ビデオ会議システムを活用して遠隔基地との双方向の対面式座学教育訓練を実施することを考案 就航各基地に駐在する整備要員の定期訓練や一等航空整備士模擬口述試験などにおいて 正式な教育訓練とすることで移動のための費用や時間ロスを削減し教育訓練効率の向上に大きく貢献されました

奨励賞：教育訓練の部

株式会社 JAL エンジニアリング Maintenance-ism プロジェクトチーム 様

「Maintenance-ism 標語の作成」

貴殿は 航空機の品質につながる人財の育成のため整備士として身につけるべきマインドやマナーを「Maintenance-ism」として文書化し さらにそのエッセンスを心に響く「標語」にまとめ日常業務の中で地道に繰り返し共有してその浸透に取り組むことで作業不具合の減少に大きく貢献されました

【学校部門】

会長賞：学校教育の部

学校法人神野学園 中日本航空専門学校 真田稔広 様

「コンテストを通じた空港の旅客、貨物、グランドハンドリング業務における実践的技術力の向上と航空

関連企業への学生育成状況の実態共有

貴殿は 旅客部門・グランドハンドリング部門・貨物ハンドリング部門全員で空港地上支援部門コンテストを開催 実践形式での内容とし 技量・知識や安全確認等の審査項目に対して学校のみならず企業からの視点でも評価するなど 企業を巻き込んだコンテストを実施したことにより 知識・技能のレベルアップに大きく貢献されました

奨励賞：学校教育の部

学校法人筑波研究学園 成田つくば航空専門学校 佐藤宣知 様

「実践に沿ったグランドハンドリング授業のための器材作成・導入」

貴殿は グランドサポート学科のカリキュラムを多岐な視点から検討し 空港での現状により近い授業となるようまた安全教育の内容も拡充するなどシラバスを大きく変更し 新たな教育基準を設定することで 学科の教育内容の充実に大きく貢献されました

平成28年度（第64回：平成29年6月9日）

【企業・団体部門】

会長賞：業務改善の部

SPP長崎エンジニアリング株式会社 整備部 様

「難易度の高い B767 Landing Gear Outer Cylinder 内面修理の完遂」

貴殿は ボーイング 767 型機用ランディング・ギアの分解整備において 難易度の高いアウター・シリンダー内面の機械加工 クロムメッキ メッキの研磨について 新たな手法を考案し アウター・シリンダー修理の納期の短縮とコスト削減に大きく寄与されました

会長賞：教育訓練の部

株式会社JALエンジニアリング 土屋隆茂、小林圭二、伊藤陽史、松本 隆、佐々木 卓 様

「整備士養成訓練への IT 技術の導入」

貴殿は 整備士養成訓練において 仮想現実映像等の IT 技術を駆使した教材を航空機メーカーとともに開発し 実機さながらの整備作業シミュレーションにとどまらず 実機では実現できない不具合の再現による対応訓練を可能にし 整備士の経験不足を補うに資する教材により 効果的かつ効率的な訓練体制の確立に大きく貢献されました

表彰審議会委員長特別賞：研究・開発の部

株式会社SUBARU 平井久之 様

「中央翼自走式多頭自動穿孔機の開発」

貴殿は 従来穿孔作業に従事する作業者の負担や組立部位の複雑な構造のため 機械設備による穿孔作業の自動化は一部に限られ困難であった 航空機の座席取付用レールに対し 加工位置検出方法及び駆動方式の確立により 作業の自動化を図り穿孔作業の品質の向上と作業工数並びに作業負担の削減を実現されました

表彰審議会委員長特別賞：業務改善の部

株式会社JALエンジニアリング 佐々木一至、太田恭輔 様

「737-800 型機 Flap/Slat Proximity Sensor Health Checker の製作」

貴殿は 737-800 型機の Flap/Slat Proximity Sensor の不具合の再発防止策のため社内で Sensor の劣化傾向の分かる Checker を部品整備で培った技術力で製作し その使用方法の教育等をスタッフと連携し 機体整備部門に水平展開を図り 機材品質の向上と不具合探求時の大幅な工数削減並びに製造メーカーに対し作業手順化を達成されました

表彰審議会委員長特別賞：業務改善の部

全日本空輸株式会社 鐘ヶ江幸治、山中奏志、野津亮太 様

「B777/B767/B737 Duct Leak Sensor の Trouble Shoot 方法の改善」

貴殿は Duct Leak Sensor の不具合箇所を短時間で特定することのできる画期的な測定ツールを粘り強く

開発し 不具合修復を迅速に完了する手法を確立することにより 定期便の遅延を防ぎ 運航品質向上と費用削減に大きく貢献されました

表彰審議会委員長特別賞：業務改善の部

全日本空輸株式会社 辺見勝明 様、ETCエンジンコラボメンバー 様

「エンジン内の深深度部に対する BSI 手順開発とライン点検への展開」

貴殿は エンジン取り卸しにつながる重要な不具合に対して メーカーに先駆けて難易度の高い BSI 点検手順を迅速に開発し 作業時間の大幅な短縮を可能とし フリート全体で必要となるライン作業での緊急点検を機体運航に影響を与えることなく完遂し安全運航に寄与されました

表彰審議会委員長特別賞：業務改善の部

全日空モーターサービス株式会社 和田匡史 様

「ユニバーサル型旅客搭乗橋 (PBB) の開発」

貴殿は パッセンジャー・ボーディング・ブリッジにおいて 新たにメカニズムを発明して 段差のないフラットな旅客通路を実現し お身体の不自由なお客様を含むすべての乗客の安全な航空機の搭乗に大きく寄与されました

奨励賞：研究・開発の部

株式会社 JAL エンジニアリング 野口大輔、羽賀竜治、武村悠理、椎名壮博、欠端康太郎 様

「787 型機 Wi-Fi 改修中に発生した胴体外板剥離の原因究明とその後の対応からの学びと行動」

貴殿は 787 型機の Wi-Fi システムの取付改修作業で胴体外板に使用されている炭素繊維複合材の穴あけ後の補強に接着作業時の経験を様々な視点から検証し 同型機の修理技術の研究開発に大きく貢献されました

奨励賞：研究・開発の部

朝日航洋株式会社 鉄塔工事技術開発プロジェクト 様

「ヘリコプター物資輸送用 HOOK の開発」

貴殿は ヘリコプターでの鉄塔撤去作業のため 社内で開発チームにより 従来とは異なる安全かつ確実に鉄塔ごと運搬可能な Pick Up Device を長年に渡り研究開発・作製し実用化により フックに荷を掛ける行為が人の手を介さないことによる安全性の確保と工期の短縮に大きく貢献されました

奨励賞：研究・開発の部

国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 電子航法研究所 福島荘之介、齊藤真二 様

「ILS ローカライザと隣接帯域の新放送システムとの共用条件の検討手法の開発」

貴殿は 計器着陸システムのローカライザの VHF 帯の周波数が近年のアナログ TV 放送終了に伴い 放送設備からの発する共用条件を検討し干渉妨害要因をつき止め ILS 受信機に影響を与えないための安全技術の確立に大きく寄与されました

奨励賞：業務改善の部

三菱重工業株式会社 金澤勇也 様

「航空機チューブ部品加工の生産改革と新技術導入による生産性向上」

貴殿は 航空機に使用されるチューブ製造工程にある生産・技術面の課題に対し作業平準化により 製造リードタイムの削減や写真測量式非接触検査装置の導入により段取り時間等の短縮が図られ 大きく作業工数の削減と部品納期の信頼性向上に寄与されました

奨励賞：業務改善の部

全日本空輸株式会社 中野啓介 様

「B767 型機 “ENG X FIRE LP X” STS MSG の不具合に対する未然防止策について」

貴殿は ENG FIRE DET SYS の不具合を粘り強く解析し 不具合防止策としてセンサー部の水分付着を防止のためのシーリングの改修により 不具合発生件数を大幅に削減し 定期便の遅延を防ぎ運航品質向上に大きく貢献されました

奨励賞：業務改善の部

ANAベースメンテナンステクニクス株式会社 井田 剛 様

「GE90 ENG 交換後の ENG RUN 削減について」

貴殿は 時間や場所の制約が大きい Engine 交換後の High Power Run を不要とするため 粘り強い検討により Idle Power で代替する方法を確立し Engine 交換作業の大幅な時間短縮コストの削減 運航品質向上に大きく貢献されました

奨励賞：業務改善の部

ANAラインメンテナンステクニクス株式会社 後藤正明 様

「狭隘な作業環境での作業性、安全性の向上に向けた施策 (DHC8-Q400 STEERING SYSTEM 不具合に対する故障探求用 TEST ELEC CONNECTOR の作成)」

貴殿は DHC8-Q400 の Steering System 不具合対策を粘り強く検討し 狭隘な作業環境に適した故障探究作業用 Test Elec Connector を製作し 作業効率と安全性の向上を実現し 運航品質の向上に大きく貢献されました

奨励賞：業務改善の部

ANAコンポーネントテクニクス株式会社 今野恵介、森谷恒太、岡野英樹 様

「B737 NG RIPS 良品 Out に対する技術検証と再発防止策設定」

貴殿は RIPS (Recorder Independent Power Supply) がストア在庫中に自己放電した不具合を粘り強く解析し 詳細な検証とメーカーとの連携により 再発を完全に防止する方法を確立し 整備品質の向上に大きく貢献されました

奨励賞：業務改善の部

ANAエアロサプライシステム株式会社 長谷川 憲、松田智紀 様

「包括修正申請書(羽田税関への提出書類)作成時間の短縮について」

貴殿は 近年増加している包括修正申告業務に着目し 申請作業の一部を自動化するプログラムを開発すると共に 作業手順書を確立し 対象空港に展開することにより 作業の効率化と品質向上に大きく貢献されました

奨励賞：業務改善の部

株式会社フジドリームエアラインズ 技術部整備技術グループ 様

「ボアスコープを活用した Bleed Leak 初期故障の検知」

貴殿は エンブラエル E170/175 型機において 空調システムのシールを検査する手法を考案すると共に 検査を整備プログラム化して シール破損による空調システム不作動の未然防止に大きく寄与されました

奨励賞：業務改善の部

中日本航空株式会社 青島宏行 様

「ベル 412 用ヘリローダの開発及び製作」

貴殿は ベル 412 型ヘリコプターのトーイングで使用される自走式ヘリローダーを新たに開発製作してヘリコプターの安全なトーイングと共に 作業効率の大幅な向上に寄与されました

奨励賞：業務改善の部

株式会社新潟ジャムコ 技術グループ 生産技術課・情報システム課 様

「787 ラバトリー製造作業指図書等のデジタル化」

貴殿は ボーイング 787 型機のラバトリー製造で使用する作業指示関連の図面をデジタル化するシステムを作成して 紙使用量を削減すると共に 工場内の作業進捗の共有化を図り 生産性向上に大きく寄与されました

奨励賞：業務改善の部

JALスカイエアポート沖縄株式会社 ランプ統括 ランプ第1部 様

「スライダーシートの考案・製作について」

貴殿は 航空機への荷物の搭降載で使用できる 軽量で持ち運びも便利なスライダー・シートを新たに考案し 荷物の搭降載における作業効率の向上と共に 搭降載作業者の負荷の低減に大きく寄与されました

奨励賞：教育訓練の部

株式会社ジャムコ 釜形 浩 様

「e ラーニングの活用による品質マネジメント教育の実践と効果 - e ラーニング（個人学習ドリル）の運用 -」

貴殿は 新入社員入社後の品質マネジメント教育において「受講生ファースト」の視点から一連の教育受講後のアンケートを分析し、それまでの教育体系の有効性評価と課題の把握から e ラーニングを導入し、自学研鑽できる環境を整えることにより、受講生の理解度向上に大きく貢献されました。

【学校部門】

表彰審議会委員長特別賞：学校教育の部

学校法人日本コンピュータ学園 東日本航空専門学校 樋口隆一 様

「モックアップ：フライトアチチュードの製作」

貴殿は ジャイロ計器の原理や機構の理解促進のため、東日本大震災で被災した機体廃棄部品を活用して実機と同様の構成で操縦桿やラダーペダルに連動した計器指示を示すモックアップ教材を作成し、学生が実機の動きを体感することで学習効果の向上に大きく貢献されました。

奨励賞：学校教育の部

学校法人ヒラタ学園 大阪航空専門学校 今野彰紀 様

「航空整備士に必要な「整備の基本技術Ⅱ」に係る実技の「見える化」

貴殿は 航空整備士養成の実技指導において、整備の基本技術Ⅱに係る標準的な実技作業を動画にして「見える化」することにより、学生が視聴する教材として、また指導者側の指導要領として活用することができ、実習教育の平準化と効率化に大きく貢献されました。

奨励賞：学校教育の部

学校法人浅野学園 国際航空専門学校 2年運航整備技術科 27名 様

「技能審査対象機（FA-200）内部構造の技量向上教材作成」

貴殿は 廃棄される教材用FA-200型機の解体作業において、構造理解の教材に活用することを発案し、アクリル板による内部構造の可視化などの創意工夫を施したことにより、学生の皆さんが機体構造の理解と訓練の効率化に大きく貢献されました。

奨励賞：学校教育の部

学校法人筑波研究学園 成田つくば航空専門学校 澁澤廣己 様

「造形工作」授業の準備、導入」

貴殿は 航空整備士養成の実技指導において、原材料から製品を作り出す「造形工作」授業を発案し、図面の作成から金属材料の選定、各種ベンチ作業や溶接工程を盛り込んだ、総合的な基本技術の教案を構築することで、学生に「ものづくり」の喜びを体感させると共に、多面的なスキルの習得に大きく貢献されました。

平成27年度（第63回：平成28年6月10日）

【企業・団体部門】

会長賞：業務改善の部

三菱重工業株式会社 笹野正成 様

「航空機胴体フレーム部品のケミカルミリング工程における品質向上への取り組み」

貴殿は、これまで品質が安定せず作業者の力量に依存していた胴体部品ケミカルミリング工程において、保護材塗装技術の開発とエッチング処理液再生装置の実用化に成功し、飛躍的に品質を向上させるとともに生産性の大幅な改善を実現されました。

表彰審議会委員長特別賞：研究・開発の部

株式会社JALエンジニアリング エンジン整備センター 様

「超高压水噴射装置によるCF6-80C2エンジン高圧圧縮機静翼の溶射被膜剥離作業の効率化」

貴殿は、従来困難であった超高压水噴射によるCF6 HPC 静翼の被膜剥離方法を研究し、水圧に耐えうる固定技術の開発に成功され、これにより大幅な工期の短縮・作業効率化・コスト削減を実現されました。

表彰審議会委員長特別賞：業務改善の部

全日本空輸株式会社 整備センター部品事業室装備品整備部アビオニクス整備第二課 様

「IRU ポジションエラーに対する不具合原因探究方法の確立」

貴殿は、IRU ポジションエラー解析において組織一体となった分析・検討のもと、そのノウハウと技術力を活用し、これまで難解且つ時間を要していたレーザージャイロの実質不具合を特定するシミュレーションプログラムを開発し、機材品質の向上と不具合探求時の大幅な工数減を達成されました。

奨励賞：研究・開発の部

富士重工業株式会社 総務部総務課 様、スバルリビングサービス株式会社 様

「CSR地域貢献活動『出前授業』の実施」

貴殿は、“地球温暖化”と“飛行機はなぜ飛ぶの”を主題に小中学校に対するCSR地球貢献活動「出前授業」を長年開催し、10年間に320クラス約10,000名の受講実績をあげ 青少年に対する航空の裾野拡大に貢献されました。

奨励賞：研究・開発の部

国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 電子航法研究所 カテゴリⅢCBAS研究グループ 様

「カテゴリⅢ着陸に対応したGBAS (GAST-D) の安全性設計および品質向上への取り組み」

貴殿は、先進的な安全性設計・解析技術・認証方法を確立し 国際連携による将来システムCATⅢ対応GBAS (GAST-D) の実用化に成果をあげ、これまでの3次元空間航法に時間を加えた4次元航法開発による航空機運航効率の向上に貢献されました。

奨励賞：業務改善の部

株式会社JALエンジニアリング エンジン整備センター 部品整備部 部品整備課 様

「787-8型機GEnxエンジン高圧圧縮機第9段ボアスコーププラグ取り外し作業の完遂とその後の作業支援ツールの開発」

貴殿は、当初取り外しが困難と思われた787 GEnx HPC BSI 残留プラグの不具合に対し迅速に治具を製作し細心の工夫により取り外し作業を完遂しました。また更なる治具の改善と機体整備部門との連携による作業標準化を実現されました。

奨励賞：業務改善の部

ANAベースメンテナンステクニクス株式会社 高品敏明 様、太田 光 様

「Boeing 767 No. 2 Sliding Window の Air Leak の改善」

貴殿は、Boeing 767 No.2 Sliding Window の Air Leak に着目し、過去のデータや構造機能の分析・他機種との比較を行うことでメカニズムを解析し、Window 耐久時間の大幅な延長を達成するとともにオーバーホール作業時間の短縮ならびに運航支援の向上に寄与されました。

奨励賞：業務改善の部

ANAエアロサプライシステム株式会社 花房祐二 様

「航空機整備における装備品整備部門をサポートするAAS部品倉庫モデル化の実現」

貴殿は、部品倉庫エリアレイアウト変更に際し、現状把握・物量分析・導線分析に加え使用実態や保管効率を検証することで生産性の向上と倉庫品質の向上が可能となる理想の倉庫モデルを構築されました。

奨励賞：業務改善の部

東京航空計器株式会社 電子ビーム溶接機新規導入スターティング・チーム 様

「電子ビーム溶接機の換装による空盒の生産性向上」

貴殿は、電子ビーム溶接機の更新に際して社内チームを立ち上げ、綿密な仕様調整等を行うことにより、航空計器用空盒の製作に最も適した機材を開発導入し大幅な作業効率化・品質向上・コスト低減を実現されました。

奨励賞：業務改善の部

沖縄エアポートサービス株式会社 業務室 業務課 整備グループ 様

「**ワンタッチジャッキの考案・製作について**」

貴殿は、航空機地上支援車両のジャッキアップ作業の改善に取り組み、軽量コンパクトで持ち運びが容易なワンタッチジャッキを考案・製作し、作業時間の大幅な短縮と作業安全の向上を同時に実現されました。

奨励賞：教育訓練の部

ANAラインメンテナンステクニクス株式会社 羽田整備部 コーチングチーム 様

「**コーチングチームによる若手整備士の育成支援**」

貴殿は、若手ライン整備士の育成を目的に、ベテラン整備士保有の技能・ノウハウの伝承や重要なベーシックマナーの伝授等を可能とする「コーチングチーム活動」を構築・実践され、将来を担う作業リーダーの育成に大きく貢献されました。

【学校部門】

表彰審議会委員長特別賞：学校教育の部

学校法人神野学園 中日本航空専門学校 技能コンテスト実行委員 様

「**航空整備科 技能コンテストの開催**」

貴殿は、航空整備科学生の士気の高揚や整備技量向上を目的に、技能競技会（技能コンテスト）を継続して開催し学生自身の基本作業技量レベルの確認にとどまらず、教育の場における向上心ならびに連帯感の醸成にも大きな成果をあげられました。

奨励賞：学校教育の部

学校法人浅野学園 国際航空専門学校 2年運航整備科（技術）21名 様

「**航空機の復元による教育効果の向上**」

貴殿は、教材として使用する機体の修復に際し、多岐にわたる工程を生徒自らが実践することで技量アップと自信につなげるとともに、内部構造が容易に視認可能となる改善等を加え教材価値をも更に向上させました。

奨励賞：学校教育の部

学校法人日本航空学園 水野宏一 様

「**航空裾野拡大を目的とした航空啓蒙活動**」

貴殿は、各地開催の子供向け航空教室への参画や電動フリープレーンの設計・活用に加え、これまでの活動にて学び蓄積した知識をもとに「航空検定」を企画し実践に移す等、将来航空界を目指す青少年の裾野拡大活動に大きく貢献されました。

平成26年度（第62回：平成27年6月5日）

会長賞：研究・開発の部

ANAエンジンテクニクス株式会社 田口雅也 様、金山 貢 様、秋中 勉 様、

全日本空輸株式会社 吉川英視 様

「**プラズマ溶射装置を活用したHVOF領域の溶射修理方法の開発**」

貴殿は、これまでHVOF（高速フラーム溶射）のみで可能であった修理部位に対し、研究・検討を重ね、費用対効果の高い新型プラズマ溶射装置による修理を可能とし、設備導入コスト及び修理コストの削減に大きく貢献されました。

表彰審議会委員長特別賞：業務改善の部

三菱重工株式会社 江藤 潤 様

「**加工プロセスシミュレーション技術による航空機部品の生産性及び品質の向上**」

貴殿は、航空機機械可能部品の製造において生産性及び品質を飛躍的に向上させる加工プロセスシミュレー

ション技術を開発し、部品製造の立ち上げフロータイム・生産性・品質の改善に大きく貢献されました。

表彰審議会委員長特別賞：業務改善の部

株式会社 JAL エンジニアリング 簡易循環洗浄プロジェクトチーム 様

「Lavatory 配管の簡易循環洗浄装置の開発」

貴殿は、Lavatory の Waist Line の Sludge 除去作業において、各部門協力のもと新たな簡易洗浄装置を開発し、時間・コストの削減及び品質の向上に大きく貢献されました。

奨励賞：研究・開発の部

富士重工業株式会社 生産技術部工場技術課 様、生産技術部半田生技課 様、研究部材料研究課 様、
プラスト工業株式会社 様

「大型複合材部品におけるプラスト処理を用いた塗装前表面活性化技術」

貴殿は、大型複合材の塗装前表面活性化処理を自動で実施できるプラスト処理方法及び装置を開発し、作業者への負担軽減に加え、大幅な生産効率改善と品質安定化を達成されました。

奨励賞：研究・開発の部

アジア航測株式会社 災害発生時・復興支援モニタリング 撮影チーム 様

「小型機による自然災害発生状況把握と復興支援のためのモニタリング撮影」

貴殿は、自然災害発生時において、小型航空機による状況の把握・提供及びモニタリング撮影による状況変遷把握等、災害への迅速な対応と復興への支援を通し社会へ大きく貢献されました。

奨励賞：研究・開発の部

国立研究開発法人 電子航法研究所 米本成人 様、河村暁子 様、二ツ森俊一 様、森岡和行 様

「様々な電子機器と航空機搭載機器との電磁両立性に関する研究の成果を元に航空機内における電子機器利用の利便性改善」

貴殿は、航空機搭載機器と様々な電子機器との電磁両立性に関する研究の成果を基に航空機内における電子機器の利便性改善に寄与する等、技術に基づく社会貢献活動に大きな成果をあげられました。

奨励賞：業務改善の部

全日本空輸株式会社 整備センター 保屋野貴匡 様、吉澤聖良 様、水谷千尋 様、石田悠輔 様、
金井 彩 様

「B767 Window HEAT SYSTEM に関する運航阻害防止への取り組み」

貴殿は、Boeing 767 Window Heat System の運航阻害防止への取り組みにおいて、Wiring 改修作業工程の削減を図り効率的な作業計画と短時間での実施を可能とし、運航品質向上と費用削減に大きく貢献されました。

奨励賞：業務改善の部

ANA ベースメンテナンステクニクス株式会社 伊丹整備部コスト改善委員会 様

「航空機塗装における塗装方法の改善について」

貴殿は、航空機における塗装方法の改善に取り組み、その実施方法を工夫することで関連するコストの改善に加え生産性と燃費の向上及び環境への貢献を実現されました。

奨励賞：業務改善の部

ANA コンポーネントテクニクス株式会社 本田宗雅 様、正木幸恵 様、岡野英樹 様

「B787 WATER BOILER 機体装着時におけるノイズの特定と是正について」

貴殿は、Boeing 787 Water Boiler の不具合防止に向けた故障探求に粘り強く取り組み原因を特定し改善することで、品質向上による整備コスト抑制や客室サービス向上に大きく貢献されました。

奨励賞：業務改善の部

ANA エアロサプライシステム株式会社 鷲塚奈津代 様、佐伯千穂子 様

「iPad における B787 MEL 第 2 章 MEL 要目表 PDF しおり構成変更」

貴殿は、Boeing 787 MEL/CDL マニュアルにおいて、しおり作成アプリケーションソフトの使用を可能とし、データ検索時の容易性向上と項目見逃しリスクの低減を成し遂げるとともに作成時の時間短縮と品質向上

にも寄与されました。

奨励賞：業務改善の部

株式会社AIR DO AIR DO KNOWLEDGE BOX PROJECT TEAM 様

「AIR DO KNOWLEDGE BOX の作成」

貴殿は、これまで個別に管理されていた社内ノウハウを整理・関連付けし、一括検索システム構築により必要情報の活用を容易にすることで作業安全及び作業品質向上に大きく寄与されました。

奨励賞：業務改善の部

エアバス・ヘリコプターズ・ジャパン株式会社 業務本部整備部神戸整備課 様

「格納庫の効率的運用について」

貴殿は、今後想定される機体整備計画を視野に格納庫の効率的な機体配置・運用と部品管理方法の改善に取組み、必要なエリアの確保に加え生産性向上とコスト抑制においても高い成果をあげられました。

奨励賞：教育の部

ANAラインメンテナンステクノス株式会社 成田整備部 様

「人材育成マネジメントツールを活用した整備士の育成」

貴殿は、各種実施訓練やスキルレベルを個人カルテとして管理する人材育成マネジメントツールの作成と、全国基地共通に活用する仕組みを併せて構築されました。これは今後の航空従事者の養成に大きく貢献するものです。

奨励賞：教育の部

株式会社JALエンジニアリング 中村惣一 様

「『かなりマニアックな飛行機豆知識』の作成の取り組み」

貴殿は、整備士として学んだ知識を基に飛行機のシステムを平易に解説したリーフレット「かなりマニアックな飛行機豆知識」を作成し、多くの人に飛行機の素晴らしさを伝える活動を継続して実施しており高く評価されます。

平成25年度（第61回：平成26年6月5日）

会長賞：業務改善の部

株式会社JALエンジニアリング GE90 エンジンの機上機能試験の社内体制構築プロジェクトチーム 様

（代表 西村正信 様）

「GE90 エンジンの機上機能試験の社内体制構築」

貴殿は、GE90 エンジンにおいて、テストセルでの試運転に代え機上での機能試験の実施を可能とするため、多岐にわたる検討と航空局との調整を行いその仕組みを構築し、早期不具合是正による安全・定時運航の維持とコスト削減に大きく貢献された。

表彰審議会委員長特別賞：研究・開発の部

三菱重工業株式会社 蔵重 勇 様

「ポータブル熱処理炉の開発」

貴殿は、小物部品に使用する小型熱処理炉を開発・導入し、IT を有効活用したシステムとすることでリードタイムを大幅に削減し、航空機製造における国際競争力の向上に大きく貢献された。

表彰審議会委員長特別賞：研究・開発の部

富士重工業株式会社 製造部 要素技術開発チーム 様（中畑達雄 様、斎藤 学 様）、生産技術部 部品生産技術課 様（土屋順司 様）、マコトロイ工業株式会社 様（橋本英二 様、東脇啓文 様）

「CFRP 穿孔用ドリル（Rドリル）の開発」

貴殿は、CFRP の加工作業において、切刃欠損や被削材のバリ・デラミネーションを防止し且つ切削寿命と切削時間を大幅に向上させる穿孔用ドリルを開発し、その品質と作業能率の向上に大きく貢献された。

表彰審議会委員長特別賞：業務改善の部

全日本空輸株式会社 整備センター 機体事業室 ドック整備部 様 (代表 名波宏幸 様)

「Q400 型機に対する新規非破壊検査手法開発によるコスト削減策の取り組み」

貴殿は、Q400 型機胴体外板に対する非破壊検査に対し新たな点検手法を確立し、検査の信頼性向上及び整備費用の削減に大きく貢献された。

奨励賞：研究・開発の部

学校法人日本航空学園 (専) 日本航空大学校 野村 誠 様

「小型風洞実験装置の開発」

貴殿は、航空工学の研究・教育に不可欠な風洞実験装置を強化ダンボールにて製作することにより学校教育の場での各種風洞実験をより実現可能にし、その教育内容の向上に大きく貢献された。

奨励賞：業務改善の部

ANAベースメンテナンステクニクス株式会社 堀 信明 様、古川督浩 様、大友 繁 様、福原 暁 様

「フライトシミュレータでの不具合情報発信による B787 (実機) の安全運航の作りこみ」

貴殿は、B787 フルフライトシミュレータの保守整備時に発生する不具合を、実機にて予測される不具合と関連付け発信することで、運航阻害を未然に防止すると共に安全運航の作りこみに大きく貢献された。

奨励賞：業務改善の部

ANAエンジンテクニクス株式会社 ANAエンジンテクニクス(株) 整備部 様、全日本空輸(株) 整備センター 部品事業室 原動機整備部 様 (代表 小川茂樹 様)

「B777-300ER エンジン内部オイルスカベンジチューブ・コーキング除去作業対応」

貴殿は、B777-300ER 機エンジン (GE90-115B) 内部のオイルスカベンジチューブ・コーキング除去作業をオンウイングにて実施する手法を確立し、機材を早期に健全な状態に回復させることで、安全・定時運航の維持に大きく貢献された。

奨励賞：業務改善の部

ANAコンポーネントテクニクス株式会社 馬場俊之 様、石井富士夫 様

「B767/777 Cargo PDU Torque Wrench Adapter の作製/運用及び海外修理費用の抑制」

貴殿は、B767/B777 CARGO PDU(Power Drive Unit) の整備作業にて使用する Torque Limiter の Check を Torque Wrench Adapter を製作することで、購入・修理不可となった Test Stand を用いずに実施可能とし、生産体制の維持と外注費の抑制に大きく貢献された。

奨励賞：業務改善の部

ANAエアロサプライシステム株式会社 鈴木和行 様、井手誠治 様、三上直樹 様

「実践型 KY の導入と危険ポイント検索システムの開発」

貴殿は、実践型 KY の導入と危険ポイント開発システムの開発により、効率的かつ効果的な実践型 KY の実施・実現に大きく貢献された。

奨励賞：業務改善の部

沖縄エアポートサービス株式会社 沖縄エアポートサービス(株) ランプ統括部 ランプ課 1・2グループ 様 (代表 城間茂朋 様)

「熱中症対策 (地上エアコンを利用して航空機貨物室内に冷風を送り込む)」

貴殿は、地上エアコンダクトを改修し冷風の一部を前方貨物室に送ることで、B737 型機バルク作業における熱中症発症の危険性緩和に大きく貢献された。

奨励賞：業務改善の部

東京航空計器株式会社 山田 聡 様、青柳 忍 様

「超小型モーションセンサユニットの自動同時多数補正データ取得による生産性向上」

貴殿は、個別に行っていた超小型モーションセンサユニット製造時の補正作業を、複数同時に実施できる治具の開発とソフトウェアの導入により、生産性の向上に大きく貢献された。

奨励賞：業務改善の部

空港施設株式会社 エアバス・ヘリコプターズ・ジャパン(株) 様 (代表 高見恭司 様)、空港施設(株) 様 (代表 津口峰男 様)

「エアバス・ヘリコプターズ・ジャパン神戸格納庫「新格納庫運用に伴う業務改善」

貴殿は、神戸空港における新格納庫での事業運営において、施設・設備を有効に活用し、品質性・安全性・生産性の向上と費用削減に大きく貢献された。

奨励賞：教育の部

株式会社 JAL エンジニアリング 山崎良晃 様

「MRM 特別訓練「Teamwork のための世代間の Communication を考える」の制作」

貴殿は、整備作業品質向上を目的に Maintenance Resource Management (MRM) 訓練と MRM リカレント訓練を実施し、グループ全体の作業品質の向上に大きく貢献された。

奨励賞：教育の部

スカイネットアジア航空株式会社 ソラシドエア 整備本部 整備管理部 教育訓練グループ 様 (小林文雄 様、鈴木俊博 様、奥寺絢子 様)

「教育・訓練 IT 化推進「アジア初の MTS 導入」について」

貴殿は、アジア初の MTS (Maintenance Training Service) を導入し、IT を活用した教育・訓練全般の仕組み作りを進めることで、航空整備士の育成と整備生産性・航空機材品質の向上に大きく貢献された。

奨励賞：教育の部

学校法人神野学園 中日本航空専門学校 河合直仁 様、田羽多勝典 様、川畑建郎 様、指熊裕史 様

「オートクレーブを使用した複合材翼構造試作による複合材製造技術者教育の実践」

貴殿は、所有するオートクレーブを活用した教育を実践することで多くの専門知識を持った卒業生を輩出し、航空機製造における複合材製造技術者の養成に大きく貢献された。

平成 24 年度 (第 60 回 : 平成 25 年 6 月 7 日)

会長賞：業務改善の部

全日本空輸株式会社 竹石 豊 様、長瀬俊樹 様、片山充彦 様

「A320 E/W WHEEL N/W STRG FAULT による運航阻害の撲滅について」

A320 型機における BSCU の Software 改修に伴い増加した GTB に対し、事前検知の整備処置及び規定の改定を実行し、運航阻害の発生抑制、運航品質向上に大きく貢献された。

表彰審議会委員長特別賞：業務改善の部

株式会社ジェイエア 鈴木圭太郎 様、秋田剛志 様

「CRJ 型機用「渡し板」を使用した旅客案内改善」

CRJ-200 型機のお客様搭乗方式に対し国土交通省航空局からの承認も得て PBB 先端部と機体搭乗口との間に渡し板を設置し利便性、定時性、安全性の向上に貢献された。

表彰審議会委員長特別賞：業務改善の部

日本トランスオーシャン航空株式会社 宮里裕太 様、松田 良 様、波平 克 様

「737-400 Auto Throttle System 不具合防止法の確立」

B737-400 型機における Auto Throttle System に関する不具合が集中発生する中、実機検証ならびにデータ解析を密に取ることで不具合原因を突き止め再発防止の手法を確立し機材品質の向上に貢献された。

奨励賞：研究・開発の部

株式会社 JAL エンジニアリング JALEC 747 Classic Sec41 展示プロジェクトチーム 様

(袖岡 宏 様、渡辺 忠 様、千葉高志 様、佐藤貴志 様、三浦 誠 様)

「747 Classic 展示物組立の受託作業における航空機整備技術の適用」

「747 Classic 機首部分の屋外展示」の受託作業に際し永年の航空機整備で培った技術力を持って幾多の苦

難を乗り越え完成に結びつけ航空科学博物館見学者への案内に貢献された。

奨励賞：業務改善の部

ANAコンポーネントテクニクス株式会社 田邊貴典 様

「BOEING 777 MAIN GEAR TRUNNION 部の加工方法の改善」

Trunnion 部に発生する腐食の機械加工作業に掛かるヒートダメージと加工時間を改善するため、専用 Tool の製作を行い大幅な工数削減と作業能率の向上に貢献された。

奨励賞：業務改善の部

ANAエアロサプライシステム株式会社 鷲塚奈津代 様、花沢富夫 様、武田 学 様、芹澤豊和 様

「装備品作業基準の閲覧様式の改善」

装備品作業基準を手作業での差替え作業上間違えるリスクと配布資料印刷コストの削減を図るため書類の PDF 化と閲覧様式の公開により品質の改善、生産性の向上に貢献された。

奨励賞：業務改善の部

株式会社ジャムコ 滝口雅彦 様、仲村祥治 様

「ドック整備における故障探求」

Gulfstream G-4 型機の度重なる主脚タイヤがバーストする潜在的な不具合の原因を日常作業点検の中でハイドロラインの誤配管として発見し適切な対処を図り高い信頼性の確保に貢献された。

奨励賞：教育の部

学校法人浅野学園 国際航空専門学校 教官 加納久生 様、運航整備科（技術コース）2 学年 様
（青木愛美 様、羽成昭悟 様、田中元氣 様）

「実習機ビーチクラフト式 B55 型機 降着装置作動模型の製作」

実習機の脚の動作が複雑で理解しにくい機構に対し人力でゆっくり作動させる模型を学生と共に製作し学習能力の向上とグループ学習の向上に貢献された。

平成 23 年度（第 59 回：平成 24 年 6 月 8 日）

会長賞：研究・開発の部

三菱重工業株式会社 西出憲司 様

「MRJ モックアップ検証による胴体艙装の作業性向上について」

MRJ の胴体艙装作業の検証のため物理モックアップを導入し、難作業箇所を改善し作業性の向上を図ると共に製造コストの低減に繋げ、機体製造へのより確実な準備に貢献された。

表彰審議会委員長特別賞：研究・開発の部

株式会社 JAL エンジニアリング 土屋貴伸 様、斎藤 淳 様、重田武士 様、加藤信幸 様、杉田泰久 様

「TCAS System Trouble による GTB 防止策の提示」

TCAS メッセージ発生の不具合の原因追及のため、機体メーカーと共に対策検討に取り組み適切な対処方法を導き GTB 発生の防止に大きく貢献された。

表彰審議会委員長特別賞：業務改善の部

ANAエアロサプライシステム株式会社 山本和彦 様、小野寺雅幸 様、田口澄江 様

「在庫クリチカル品優先検収プログラムの構築」

部品補給における受身対応の業務を再検討し緊急検収にアップグレードされる情報を先取りする体制を整え、分かり易い優先検収プログラムを構築し高品質な運航支援の推進に貢献された。

奨励賞：業務改善の部

株式会社 IHI ジェットサービス 小坂橋 綱 様

「V2500 ファンモジュールの組立作業の改善」

V2500 エンジンのファンモジュール組立作業の手順の見直しや組立てスタンドの改善を行い、作業エリア

の効率化並びに作業工数を削減し生産効率の向上に大きく貢献された。

奨励賞：業務改善の部

株式会社 JALエンジニアリング 代表 早川研二 様

「C整備 500万円節電プロジェクト」

C整備作業での電力供給に取組み必要時に必要なだけ供給する逆転の発送を提唱し、証明設置の取り決め見直しやルールの作成並びにその定着に工夫努力して使用電力の大幅な削減の達成に貢献された。

奨励賞：業務改善の部

全日本空輸株式会社 伊藤麻美 様、松田圭介 様、内山久雄 様

「B737-700/800型機 ISFD の取卸し低減対策について」

B737 ISFD の不具合状況を確実に把握し十分なデータ解析の基、機体メーカーに働き掛け Maintenance Tip やサービスマニュアル発行に至る解決策を導き ISFD の取卸しの低減に繋げ、運航品質向上と費用削減に大きく貢献された。

奨励賞：業務改善の部

ANAエンジンテクニクス株式会社 西堀 豊 様、砂金達彦 様

「CF6-80C2 HPT STATOR 2ND NOZZLE クリープフィード加工方法導入」

エンジン部品の加工方法を基本から見直し発想の転換による新たな加工方法を導入し、多くの課題を工夫と努力により克服して加工工数の削減に大きく貢献された。

奨励賞：業務改善の部

ANAテクノアビエーション株式会社 機体整備部 機体塗装課 代表 平田健一郎 様

「出前 PAINT」

定期的なペイント作業から発想を転換し、運航中の機体が停留する基地に赴きペイント作業を機動的に行うことにより、機体の腐食防止と安定的な美観の維持に貢献された。

奨励賞：教育の部

学校法人神野学園 中日本航空専門学校 川口 博 様

「ビーチクラフト E33 ボナンザ カットモデル製作」

廃棄の機体から創意工夫を凝らしたカットモデルを完成させ、視覚により航空機システムを容易に理解できる教材を提供し、航空教育の啓蒙推進と学生の能力向上に貢献された。

奨励賞：教育の部

株式会社 JALエンジニアリング 新海武志 様

「MAGIC-III RESET してみま SHOW 制作」

運航中の IFE 不具合の復旧対策の乗員要請に素早く応え、リセットシミュレーションのできる啓蒙教材を完成させ海外基地含め広く普及させ、空地一体での高品質サービスの提供に大きく貢献された。

奨励賞：教育の部

ANAフライトラインテクニクス株式会社 羽田整備部 訓練担当 代表 長谷川 豊 様

「一等航空整備士養成アカデミーの設立」

整備士養成体系を点検して、社内訓練スキームや訓練内容並びに教官養成体系を創意工夫により整備し、訓練効果を向上させ訓練品質と合格率の向上推進に貢献された。